



2月25日(土)10時～16時、市内の見所と飲食店などに設けられたチェックポイントを自転車か路線バスで巡るスタンプラリー「びゅーっとあやせ」を開催します「雨天の場合は3月4日(土)に延期」。

当日は、市役所でマップとスタンプ台紙を受け取り、各自好きな場所を目指します。

チェックポイントは必ず回る「必達ポイント」、飲食店などで綾瀬の味を楽しむ「グルメスポット」、さらには「ショッピング」「歴史・文化・産業」「みどり」などのテーマ別に沿って楽しむ「テーマ別ポイント」があり、合計40か所を用意しています。好きなテーマに絞ったり、異なるテーマを幅広く回ったりと、コースは自由に決められます。

チェックポイントで必要数のスタンプを集めた後、引き続き3月25日(土)までにショッピングポイントとグルメスポットで必要数のスタンプを集めると、「厚木基地内をバスで巡るツアー(定員20人)への応募資格が得られます」。



史・文化・産業「みどり」などのテーマ別に沿って楽しむ「テーマ別ポイント」があり、合計40か所を用意しています。好きなテーマに絞ったり、異なるテーマを幅広く回ったりと、コースは自由に決められます。

チェックポイントで必要数のスタンプを集めた後、引き続き3月25日(土)までにショッピングポイントとグルメスポットで必要数のスタンプを集めると、「厚木基地内をバスで巡るツアー(定員20人)への応募資格が得られます」。

不育治療や一般不妊治療を行っている方に、検査・治療費の一部を助成しています。

▼内容①不育治療費助成②一般不妊治療費助成③助成額 治療費や検査料の保険診療対象外で自己負担分の2分の1(上限は①30万円、②1年度当たり5万円)で治療期間は2年間までです。

▼対象 次の要件を全て満たす方▽申請時点で市内に住居登録をしている夫婦で、法律上の婚姻関係にある▽医療機関で不育症(②は不妊症)と診断され、検査と治療を受けた▽夫婦の前年度所得額の合計が730万円未満▽国民健康保険や社会保険などの医療保険に加入している▽対象者と世帯員に市税の滞納がない▽市内居住時の治療と検査

不育治療や一般不妊治療を行っている方に、検査・治療費の一部を助成しています。

▼内容①不育治療費助成②一般不妊治療費助成③助成額 治療費や検査料の保険診療対象外で自己負担分の2分の1(上限は①30万円、②1年度当たり5万円)で治療期間は2年間までです。

▼対象 次の要件を全て満たす方▽申請時点で市内に住居登録をしている夫婦で、法律上の婚姻関係にある▽医療機関で不育症(②は不妊症)と診断され、検査と治療を受けた▽夫婦の前年度所得額の合計が730万円未満▽国民健康保険や社会保険などの医療保険に加入している▽対象者と世帯員に市税の滞納がない▽市内居住時の治療と検査



神崎遺跡が発見されることとなったきっかけは、市の歴史を編集して本にする市史編集事業でした。

市内には弥生時代の資料がほとんど無かったため、市史編集資料の収集を目的として、平成元年に弥生時代の埋蔵文化財包蔵地である吉岡字神崎を調査しました。その結果、東海地方の土器を主体とする環濠集落の発見という、当初の予想をはるかに上回る成果を上げることができました。

その後、国の指定を受けて、23年2月「国史跡・神崎遺跡」が誕生しました。

図生涯学習課 ☎70・5637。



▲神崎遺跡出土土器



▲復元想像図

の費用である▼必要書類 保健医療センター ☎77・1333へ確認要▼用 同センターで配布する申請書(市ホームページからダウンロード可)に記入し、①は不育治療終了後1年以内に、②は不妊治療の前年2月～1月の診療分領収書を添えて3月31日までに、同センターへ直接

不育・一般不妊症 治療費の一部を助成

細は、市ホームページを見てください。

自転車の乗り方などのルールを守る方対象(小学生以下は保護者同伴要)。

費用1人500円(保険料など含む。グルメスポットでの飲食費は別途負担要)。

参加者全員の氏名、ふりがな、生年月日、年齢、住所、電話番号、自転車借用の有無を、1月13日～2月13日に商業観光課 ☎70・5685 か ☎04400city@ayase.kanagawa.jp (メールは「びゅーっとあやせ 参加申込」と明記要)。

あやせ スポレポ!

綾瀬グラウンド・ゴルフ協会
圃小栗
☎78・7639

▲体験講習会の様子

まちかど特派員 秋元謙治

綾瀬グラウンド・ゴルフ協会は会員相互の親睦交流と、健康増進を図りながらグラウンド・ゴルフの普及振興を活動目的として、平成21年に設立された団体です。会員数は現在約300人で、全国には360万人もの愛好者がいます。

グラウンド・ゴルフは、昭和57年に鳥取県泊村で誕生しました。高度な技術が必要とせず、ルールもごく簡単。初心者でもすぐに取組めるスポーツで、国体の公開競技として行われています。今年の岩手国体には、同協会から2人の選手が出場しました。

同協会では会報紙も発行しており、各大会での成績発表や市内クラブチームの紹介など、紙面はグラウンド・ゴルフを楽しむ笑顔であふれています。

11月に開催された市長杯では、89チーム482人が熱戦を繰り広げました。100歳の長荒勝太郎さん(大上)もエントリーし、その年齢を感じさせないプレーを披露しました。

▲大会でプレーする長荒勝太郎さん

同協会会員の小栗さんは「地域との交流を深めるとともに、グラウンド・ゴルフを広めるため、綾瀬小学校では体験講習会も実施しました。参加した子どもたちはホールインワンに湧き、ハイタッチで喜びを分かち合っていました」と話します。グラウンド・ゴルフは、みんなでプレーを楽しむ「心のバリアフリー」が育まれるように感じました。

同協会では「一緒に、グラウンド・ゴルフを楽しみませんか」と、会員を募集しています。